

川崎発の新名物！「香辛子ポップコーン」登場

～かわさき生まれのハーブペッパー「香辛子^{こうがらし}」でおうち時間を熱く盛り上げる～

「川崎市×きらぼし銀行」による地域を超えたマッチング支援

本市では、「川崎市知的財産戦略推進プログラム」に基づき、川崎市産業振興財団等と連携し、「知的財産交流事業」に取り組んでおり、知的財産交流事業で連携している味の素株式会社（鈴木町1-1）で開発されたハーブペッパー「香辛子（こうがらし）」の普及促進に向けて取組を進めています。

本件は、地産地消を経営理念とし小ロットの商品開発・食堂の運営を大川町産業会館で運営する美遊（みゆう）JAPAN 有限会社（川崎区）から香辛子の普及促進のために「顔となる商品」を作りたいとの相談がありました。本市と知的財産交流など「産業振興に関する包括連携」を締結するきらぼし銀行へ相談し、同行取引先であり「ジャズポップコーン」のブランド名でフライパン型ポップコーンを展開する有限会社クローバー（相模原市）の紹介を受け、本市、きらぼし銀行、川崎市産業振興財団が連携・支援し、「香辛子」を活用した新商品「香辛子ポップコーン」を商品化しました。

（8月26日発売開始）

■香辛子ポップコーンとは

川崎生まれのハーブペッパー「香辛子」と、日本全国で親しまれる相模原の「ジャズポップコーン」がコラボレーション。子どもにも食べられる優しい辛みとフルーティーな香りが特徴の燃焼系ポップコーン。それぞれの地域の魅力が詰まった、おやつにもおつまみにもぴったりのご当地スナックが誕生しました。



写真：美遊 JAPAN 有限会社提供

■香辛子ポップコーン開発経緯

2019年から普及促進を開始し、様々な商品開発が行われてきた「香辛子」であるが、市内で栽培する農家が減少しており、当初から香辛子普及促進に尽力している美遊 JAPAN 有限会社から本市に対して「末永く愛される香辛子の顔となる商品を開発して、川崎の農家が育てたくなるほどに香辛子の需要を高めたい」と相談がありました。本市は包括連携協定を締結しているきらぼし銀行に相談したところ、同行の取引先である有限会社クローバーを紹介してもらい、川崎市産業振興財団を含めて連携し、商品開発を行いました。製品で使用する香辛子は全て川崎市内農家が栽培しており、また今回の案件をきっかけに、新たに2軒の農家の「香辛子」栽培が開始することとなりました。



【香辛子（こうがらし）とは】

燃焼力の高いハバネロ、ブートジョロキアから育種されたフルーティーな香りの、辛みが弱く、体に優しい、生で食べられるハーブペッパー。本市では、味の素株式会社（鈴木町1-1）で開発されたハーブペッパー「香辛子（こうがらし）」の普及促進に向けて、味の素(株)、セレサ川崎農業協同組合、川崎市の3者で2019年から取組を進めている。

■販売計画

販売日 : 令和7年8月26日(火)から ※⑤のみ販売日未定

希望小売価格: 500円(税込)

販売店舗

- ① 川治屋 (川崎市川崎区砂子 2-4-8)
- ② JA セレサ川崎ファーマーズマーケットセレサモス麻生店 (川崎市麻生区黒川 172)
- ③ JA セレサ川崎ファーマーズマーケットセレサモス宮前店 (川崎市宮前区宮崎 2-1-4)
- ④ 灰吹屋 宮前平店 (川崎市宮前区宮前平 2-15-8) 他
- ⑤ sagamix (相模原市南区相模大野 3-2-1 ボーノ相模大野ショッピングセンター2F)

■企業概要

【美遊 JAPAN 有限会社】

取締役 岩 篤志 (イワ アツシ)

所在地: 神奈川県川崎市川崎区大川町 9-2 大川町産業会館

事業内容: 小ロットの食品加工品開発、食堂の運営

資本金: 500万円

会社HP: <https://www.miyu-japan.com/>



【有限会社クローバー】

代表取締役 雨倉 寿久 (アメクラ トシヒサ)

所在地: 神奈川県相模原市緑区下九沢 1549-1

事業内容: 菓子食品製造販売

資本金: 1000万円

会社HP: <http://www.clover-popcorn.com/>



■お問合せ先

川崎市 経済労働局経営支援課 (本件経緯、香辛子について)

加藤 電話 044 (200) 2325

美遊 JAPAN 有限会社 (香辛子ポップコーンについて)

岩 電話 044 (322) 5171